

第5回Zoom子どもの学びを創る会

2020.10.24

withコロナの中での教育課程

～「カリキュラム・マネジメント」に努める  
必要性を考える～



長門市立油谷小学校 教諭 芝田秀樹

子どもの学びを創る会/日本授業UD学会中国支部

# GIGAスクール構想と公正に個別最適化された学びへ

GIGA : Global and Innovation Gateway for All

## 5. 端末の持ち帰り学習の実施の促進に向けた、ICT端末の緊急時における取扱いについて

- ・新型コロナウイルス感染の緊急時の端末の取扱い（学びの保障）
- ・持ち帰りへの自治体への柔軟な対応
- ・平時の持ち帰り学習への可能性

## 学校設置者及び学校の取組姿勢

端末の家庭等への持ち帰りや学習での活用の妨げにならないように、

- ・前例にとらわれず、また、抑制的な思考に陥ることなく、前向きに検討すること。
- ・意欲的に取り組む教職員による創意工夫の試みを最大限活かすこと。
- ・まずは、取組を開始し、その後の地域の実情等に応じて改善する弾力的な発想で対処すること。

9月11日に公表した「GIGAスクール構想の実現に向けた調達等に関する状況（8月末時点）について」（速報値）を踏まえ、自治体における整備加速化に係る対応策をまとめました。

2文科初第858号  
令和2年9月11日

## ICT環境整備の加速化に係る対応策

各 都 道 府 県 知 事

### 気になる端末の持ち帰りについて

所轄する構造改革特別区職法第12条  
第1項の認定を受けた各地方公共団体の長

文部科学省初等中等教育局長  
瀧本 寛

## すでに自治体に差が出ているのでは？

「GIGAスクール構想の実現に向けた調達等に関する状況調査」の速報値公表及びそれを踏まえたICT環境整備の加速化に係る対応策について（通知）

このたび、関係者の協力をいただき、「GIGAスクール構想の実現に向けた調達等に関する状況（8月末時点）について」の結果を速報値としてとりまとめましたので、お知らせいたします（別紙1）。

これまで、「新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン及び新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の「学びの保障」総合対策パッケージについて」（令和2年6月5日付け文部科学省事務次官通知）等で示したとおり、各学校設置者においては、ICTの活用により全ての児童生徒の学びを保障するため、一刻も早く児童生徒一人一人に端末を配備するなどICT環境を整えることが必要です。

本年6月以降、学校が全面的に再開されていますが、現在も、各地で学校関係者に感染者が発生したことによる数日間の学校の臨時休業等が行われている状況です。今後も、季節性インフルエンザの流行、台風や地震といった自然災害等の影響により、学校の臨時休業等が行われることが想定されます。

児童や学校，地域の実態を適切に把握し

- ① 教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと (  )
  - ② 教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと (  )
  - ③ 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと (  )
- などを通して、

教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと

※この①～③を具体化していくこと

## カリキュラム・マネジメントの実施上の留意事項

各学校においては、**校長の方針の下**に、校務分掌に基づき教職員が適切に役割を分担しつつ、相互に連携しながら、各学校の特色を生かした**カリキュラム・マネジメント**を行うよう努めるものとする。

また、各学校が行う**学校評価**については、教育課程の編成、実施、改善が教育活動や学校運営の中核となることを踏まえ、**カリキュラム・マネジメントと関連付け**ながら実施するよう留意するものとする。  
(総則編 P120第5節学校運営上の留意事項から)

校長 = 教職員のリーダー + 経営者の力量

- 経営体としての組織づくり  
(校務の分掌化と相互の関係性の明確化)
- PDCAサイクルのC(Check評価)の学校評価の役割

# 学校評価の気になる点

よくあてはまる

ややあてはまる

あまりあてはまらない

全くあてはまらない

A

B

C

D

学校によっては、上のような4段階など数値スケールを用いて、保護者や教職員等に項目ごとの評価を依頼している。その結果を数値化して、85%だから概ね達成しているとか、2学期の同じ項目で5%良くなったので、戦略に効果があったなどの評価結果を出している。

しかし、スケールにチェックする際の根拠が既に怪しい場合がある。何となくとか、学校の評価だからAかBとか、逆にあることだけで厳しくする。これだけで評価するのは怖い。

スケールにチェックする際の根拠、また子ども・教職員・保護者等の 気づきや意見が少数であっても、謙虚に受け止め、改善に反映したい。

(例) 評価の目安 (最もあてはまる記号に○印を記入してください)

A : よくあてはまる (達成率…80%以上)

B : ややあてはまる (達成率…60%以上)

C : あまりあてはまらない (達成率…60%未満)

D : 全くあてはまらない (達成率…40%未満)

保護者や地域の方へ、日頃から評価情報を送っているかが重要になる。

# カリキュラムをマネジメントするという考え方

【教育課程とカリキュラムの違い】（芝田秀樹 2009）

教育課程は、あくまでも全体教育計画や年間指導計画という計画レベルを指す。

カリキュラムは、の4つのレベルを含む。



何に向かって、をするのか

各学校の教育目標が定める

教育の目的や目標の実現を目指す

※学年目標や学級目標のが各校の教育目標になっているか

# カリキュラム・マネジメントとは (金馬国晴 2019)

各学校が  のよりよい達成のために、  
カリキュラムを創り、動かし、  
よりよいものへと変えていく営み

## なぜ、カリキュラム・マネジメント（CM）か

### 1 社会との関わり

社会が向かおうとしているSociety5.0 や社会が求めている  
SDGs等を考えると、単一の教科学習から教科の横断・融合な  
どの柔軟な発想が重要 ※SDGs(持続可能な開発目標)



### 2 学校教育が取り扱う学習内容の増加

「特別の教科 道徳」「小学校外国語」  
莫大な「〇〇教育」への取組



# SDGs (エスディー・ジーズ)

(Sustainable Development Goals/持続可能な開発目標)



貧困や飢餓, 健康や教育, ジェンダー平等, 安全な水  
 クリーンエネルギー, 生きがい・経済, 技術革新, 不平等解消, まちづくり  
 気候変動, 海・陸の豊かさ, 平和と公正, パートナーシップ

# 莫大な「〇〇教育」

情報教育、ICT教育、著作権教育、ネットリテラシー教育、ネットモラル教育、プログラミング教育、視聴覚教育  
特別支援教育、ユニバーサルデザイン教育、インクルーシブ教育、  
人権教育、主権者教育、平和教育、性教育、小中連携教育、小中一貫教育  
オリンピック・パラリンピック教育、消費者教育、  
LGBT教育、「性の多様性」教育、起業家教育、税金教育  
環境教育、安全教育、交通安全教育、自然体験教育、福祉教育、  
キャリア教育、規範意識教育、道徳教育、心の教育、  
外国語(英語)教育、国際理解教育、ボランティア教育、多文化共生教育  
食育教育、健康教育、がん教育  
博物館教育、動物愛護教育、図書館活用教育、  
NIE教育、掲示教育、STEM教育

## 44種類

# 2020年度からの学校の教育目標は

を明確にしたい

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く  
知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

校長 + 教職員  
ビジョンの共有

自校の教育目標

学校運営協議会への提案・承認  
教職員・保護者・子ども・地  
域への説明・周知

各学年主任  
学年内の共有

学年の教育目標

教職員・保護者・子どもへの  
説明・周知

担任 + 学級全員  
目標の決定過程

学級の教育目標

子ども・保護者への説  
明・周知

# 学校教育目標の考え方

- 学校教育の目標ではない。  
学校の教育目標である。  
自校の課題が含み込まれている。
- 目標は目指すものではなく達成するもの  
現状と目標のギャップを認識すること  
評価が可能な具体性をもっていること
- 教職員とともに創る。  
学校評価に耐えられるもの（達成感）
- 三育(知・徳・体) 主義に固執しない。

## 学校の教育目標の設定要件 (総則編P47)

- (1) 法律及び学習指導要領に定められた目的や目標を前提とするものであること。
- (2) 教育委員会の規則、方針等に従っていること。
- (3) 学校として育成を目指す資質・能力が明確であること。
- (4) 学校や地域の実態等に即したものであること。
- (5) 教育的価値が高く、継続的な実践が可能なものであること。
- (6) 評価が可能な具体性を有すること。

# 学習と生活(地域) を意識したカリキュラム

〇〇年度 第〇学年カリキュラム

月配列・時数

自分色 発して創ろう ぼくらのクラス

めざす子ども像  
重点課題

①

②

③

月

時数  
年間

4月

5月

6月

7月

時一  
数学期

9月

学校行事

国語

235

道徳

35

外国語・外国語活動

総合

学級活動

児童会活動

朝・帰りの会

学校・地域の共  
通事項

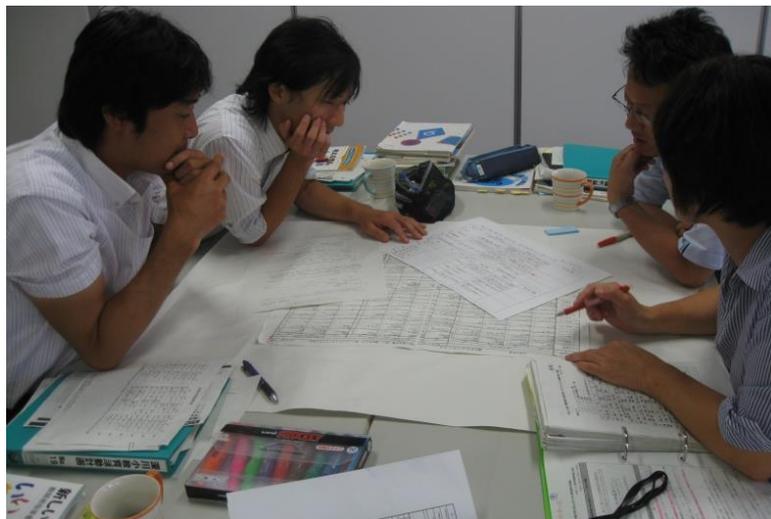
カリキュラム・マネジメントの重視

各学校の独自性

領域・内容

# 各学年カリキュラムのふりかえりはいつ? どのように?

年間5回 5月, 7月, 10月, 12月, 2月(研修の時間)



子どもの様子から, 適切な時数を決める

単元・題材の工夫や留意点をコメント挿入する

関連を図った行事や教科等を線で結ぶ

- ▷ 授業と単元の改善案を学年内で共有する
- ▷ 2月末で来年度のカリキュラムを完成させる
- ▷ 学年間の同単元指導の研修会となり得る

## 単元や題材の点検・評価をコメント挿入する

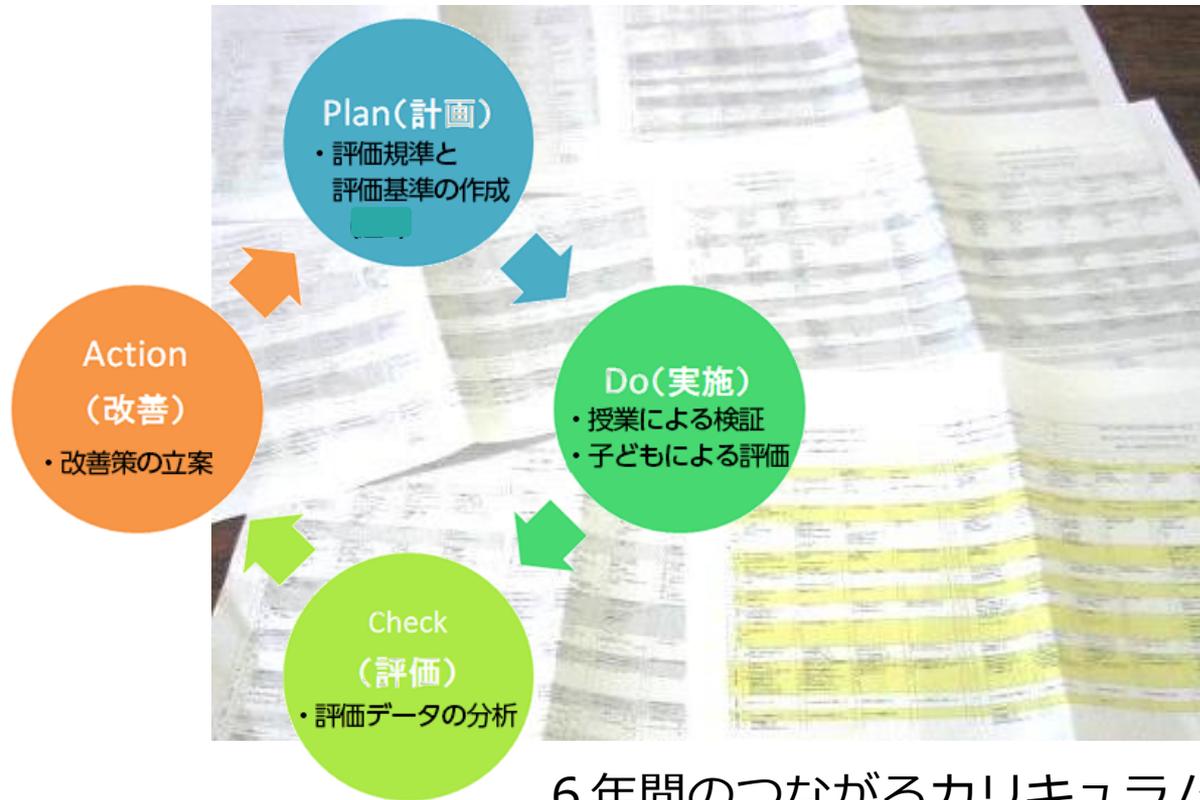
	L	M	N
18			
19			

理解の定着に時間がかかったので、+1時間を予定した方がよい。指導は、視聴覚教材を活用し、定着確認は基本問題を使うとよい。

- 単元や題材における工夫点や改善点を記載する。
- コロナ禍における指導に関する留意点や変更点を記載する。
- 来年度の担任・担当への引継ぎの一つとしてとらえる。
  - ・理科の栽培の計画
  - ・生活科や社会科の見学先，地域の方の連絡先等



# カリキュラムづくりとマネジメント



カリキュラムは管理職だけが考えるものでなく、学級担任や教科担任等の全教職員で考えていくべきもの。

# 教育課程の要素を支えるカリキュラム・マネジメント

